

# 話題

あなたの身近な話題をお知らせください。

問い合わせ先 総務課 企画室 広報担当まで(内線208)

## 「第26回金栗四三翁マラソン大会」

### 「第26回金栗四三翁マラソン大会特別講演会」

10月31日(土)和水町スカイドーム2000において、元旭化成陸上部監督で九州保健福祉大学客員教授の宗茂さんによる講演会が開催され、町内外から約1200人の参加がありました。

「私のマラソン人生」と題して講話され、「小学4年生の持久走大会で初めてトップになったのがきっかけで走り始めたことや「双子の弟、猛さんと切磋琢磨しながらオリンピックマラソン代表になったこと」など、これまでの宗さんの貴重な体験談を聴くことができました。



▲宗さん講演会

### 「第26回金栗四三翁マラソン大会」が開催

日本人初の五輪選手・故金栗四三翁を顕彰する「第26回金栗四三翁マラソン大会」が11月1日(日)に和水町多目的広場を中心に開催されました。

今回は、開会式が始まる前からあいにくの雨となりました。インフルエンザの流行なども心配されたため、町内の小中学生はほぼ不参加となりました。しかし、一般参加者の方々には雨にもかかわらず、県内外の市民ランナー495人が参加され、1.2km、3km、5km、10kmのそれぞれの4コースを、沿道の町民たちの声援に励まされながら健脚を競いました。

◀雨の中でのスタートとなりました。



▲子ども達も元気にスタートです。



◀10Kmコース参加者

3km(小学生男子の部)		5km(高校生以上男子の部)	
1位 古山 倫太郎 (山鹿市)	2位 渡辺 遊登 (みつはし陸上クラブ)	1位 根岸 大輔 (専大玉名高校)	2位 霧 有毅 (熊本工業高校)
3位 古川 智己 (荒尾JAC)		3位 尾崎 雄 (荒尾高校)	
3km(小学生女子の部)		5km(中学生以上女子の部)	
1位 山田 絵梨奈 (みつはし陸上クラブ)	2位 田上 愛佳 (高道小学校)	1位 米田 加奈美 (玉名郡和水町)	2位 相澤 公代 (玉名郡和水町)
3位 大道 志歩 (浜田ランナース)		3位 佐藤 名美 (熊本市)	
3km(中学生以上女子の部)		10km(中学生以上男子の部)	
1位 田中 彩夏 (鹿本郡植木町)	2位 北川 ひかり (菊水中学校)	1位 宮村 拓弥 (荒尾高校)	2位 長友 一泰 (HEARTS)
3位 西 紗友梨 (錦ヶ丘中学校)		3位 吉岡 和訓 (陸自竹松)	
5km(中学生男子の部)		10km(中学生以上女子の部)	
1位 吉野 太樹 (菊水中学校)	2位 野口 昇真 (菊水中学校)	1位 山崎 広美 (福岡県柳川市)	2位 村上 満利子 (熊本市)
3位 山田 竣 (柳城中学校)		3位 山本 恵 (熊本市)	

各種目の入賞者は上記のとおり(敬称略)



# ま

# ち

# の

## 綺麗になると気持ちがいいね！

平成21年11月4日(水)、菊水ひまわり園の園児達による「ゴミ拾い活動」が県営駐車場でありました。これは、県下一斉熊本県保育所ボランティア活動の日になんて行われたものです。当日は、菊水ひまわり園の園児44人がゴミ拾いをし、捨てられているタバコの吸殻や空き缶、ペットボトルなどを一生懸命集めていました。約20分間の奉仕活動でしたが、「ゴミ袋四つ分となり、特にタバコの吸殻が多く捨ててあるのが目立ちました。みんなの駐車場ですので最低限のマナーを守って利用していただきたいものです。」



←一生懸命ゴミを拾いました。



▶これだけゴミが集まりました。

## 里山再生と青少年の健全育成

### 全国社会教育研究大会において

10月29日(木)〜30日(金)、崇城大学市民ホールをメイン会場に第51回全国社会教育研究大会他3大会が合同開催されました。

二日目の第5分科会「持続可能な社会」の中で、津田・平野地区里づくり協議会なごみの里会長北原芳史さんが「環境との共生を目指す社会教育の推進」の実践から「里山再生と青少年の健全育成」と題し、熊本県立大学、富士電機グループとの3者合同の取り組みを発表されました。

北原さんは約130人の参加者に、ふるさとパートナーによる里づくりを活用し、植林や伐採、野菜作り、水稻体験などを行う中で、地域のお年寄りなどが指導者となり、次代を担う子どもたちに教え、文化・風習などを伝承させる場として活動していきたい。このことが世代間の交流や生きがいを持たせることにもなり、里づくり＝青少年の健全育成につながると結ばれました。



▲なごみの里会長の北原 芳史さん



▼からいもの収穫